

8月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔令和7年8月末現在〕

令和7年9月18日
茨城県中小企業団体中央会

全体で、「景況」、「売上高」、「収益状況」の主要3指標DIを見ると、「景況」、「売上高」、「収益状況」のいずれも前年同月比は悪化し、前月比は「景況」が悪化、「売上高」が改善し、「収益状況」は変化がなかった。

業種別でみると、「景況」の前年同月比は製造業、非製造業ともに悪化し、前月比は製造業、非製造業ともに悪化した。「売上高」の前年同月比は製造業は悪化した、非製造業は改善した。前月比は製造業は変化がなかったが、非製造業は改善した。「収益状況」の前年同月比は製造業、非製造業ともに悪化し、前月比は製造業、非製造業ともに変化がなかった。

最低賃金が見直されたことによる今後の利益の圧迫を懸念している等の意見がみられた。

景況DI

全体では、前月比 4.1ポイント悪化の▲32.7ポイント、製造業は、前月比 4.0ポイント悪化の▲36.0ポイント、非製造業は、前月比 4.2ポイント悪化の▲29.2ポイントとなった。

売上高DI

全体では、前月比 6.1ポイント改善の▲4.1ポイント、製造業は、前月比 変化なしの▲24.0ポイント、非製造業は、前月比 12.5ポイント改善の16.7ポイントとなった。

収益状況DI

全体では、前月比 変化なしの▲22.4ポイント、製造業は、前月比 変化なしの▲28.0ポイント、非製造業は、前月比 変化なしの▲16.7ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に情報連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製 造 業	食料品	学校給食パン	県の最低賃金が過去最大の69円引き上げられ、1,074円になることが答申された。国、自治体では中小企業に対して支援策を用意しているが、手続きが複雑であることから手軽に利用できるものが少ない。
		清酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 当県における7月の清酒課税移出数量は、対前年同月比98.5%であった。本格焼酎については、対前年98.7%となった。清酒については物価高の影響もあり回復できていない状況となっている。6月は高級酒である特定名称酒が不振であったが、7月は普通酒が不振となった。 ○県内当業界について 今年の5月に農林水産省から茨城県内では主食用米の作付け面積が去年より8%ほど増え、過去5年間で最大になる見通しが発表されたことから、令和7年度の米価の下落を期待したが、現在収穫されている新米の価格は過去最高値となっており、基本的に永年の減反の影響により需要と供給のバランスが崩れているように感じている。 酒米についても60kgの価格が昨年度比1万円以上の値上がりとなっており、原料が米のみであり製造原価の30%以上を占める当業界にとって米価の異常な高騰は切実な問題である。 酒の価格を主食米のように値上げした場合、売り上げ不振になることは明確であることから、現状八方塞がりの状況となっている。
		納豆	最低賃金の上昇率が非常に高くなっていることに対して懸念を感じている。 人手不足により工場稼働率が低下していることに加え、原材料、人件費の上昇により、利益を圧迫しているものの価格転嫁が十分に行えていない。
		菓子	原材料や経費が上昇しているが、消費者の消費が弱くなっていることもあり、価格転嫁が出来ず利益を圧迫している。 猛暑による売上への影響がでている。
		漬物	2025年春（1～4月累計）の漬物製造メーカー（全国）の生産量は、24万4622 t（6.8%減）となった。 現代の消費ニーズにマッチする商品（単身世帯や核家族向けの少量パックの商品）の需要が高い。沢庵などのスライスタイプの商品は原料難及び採算性の両面に対応できることから標準形態として定着している。少量パックやアソート（詰め合わせ）型の刻み漬も安定した売上となっている。各企業の創意工夫の結果が数字に表れてきているが、原料調達や気象リスクが業績を左右している。
	繊維工業	外衣シャツ	縫製業の経営環境は良い状況ではない
	木材・木材製品	製材	・国産材製品の荷動きが悪く、価格は高値安定で推移した。 ・外材については入荷量は横ばい、価格については高値安定で推移した。 ・原木価格については、スギが高値安定、ヒノキとも横ばい（入荷少なめ）で推移した。
		県北地区プレカット	月間加工坪数目標（1,000坪）は80%達成であった。 9月の加工予定は、中旬以外は空きがある状態だが、17棟を予定している。 木材費は高値安定を維持している。
	紙・紙加工品	段ボール	大手企業も含め前年対比で生産量が少なく、特にお盆休み明けに注文量が減少したことを要因として厳しい状況が続いた。 青果物が猛暑の影響で育たなかったことにより、段ボールの生産量が減った。 10月から原材料の値上げも控えていることから収益への影響を懸念している。
	印刷	総合印刷	全国的に上期は出版市場の売上が5%減少し、電子書籍は増加しており、厳しい状況である。
	窯業・土石製品	陶磁器	産地は秋の陶器市に向けて生産を中心に動いているが、猛暑の影響により、生産効率はよくない状況となっている。
製 造 業	鉄鋼・金属	鉄鋼	今月の売上等は前年同月比で同程度であった。設備の操業度については、多くの取引先がお盆休みによる休暇を例年よりも長期化したため、低下した。 金属及び薬品関係は高値で推移しており、燃料並びに石油製品についても同様の状況となっている。 業界の景況は未だ悪い状況となっている。
	一般機器	生産用機械	対象7組合員（製造会社）の売上状況は、増加（対前年同月比）は4社、減少（対前年同月比）は3社となった。全体増減率は115%となった。 団地全体の売上高は、主要取引先からの受注が増加したことから4ヶ月連続で前年同月比を上回った。 団地全体の従業員数は、前年末に派遣社員数が減少したことから対前年同月比では減少しているが、対前月では同数となった。
	電気機器	発電機	ガスタービンの受注が好調となっている。
		重電	最低賃金が見直されたが、引き上げ幅が大きいため、企業全体で利益の圧迫が予想される。 社会保険料が高くなり、予定納税額も一年の売上で支払うのは大変である。
	輸送用機器	県北地区自動車部品	全体的に受注の減少傾向が続いており、今のところ好転の兆しが見えない。

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
非 製 造 業	卸売業	生鮮魚介	精算所の取扱高が前年同月比2.66%増加した。 8月前半は、お盆を含め大型連休等があったため、売上は好調であったものの、後半は厳しい状況となった。今後は秋刀魚、秋鮭等の鮮魚関係の入荷が伸びて市場全体に活気が出ることに期待している。
		米麦	令和7年産の米の収穫が始まったが、高温障害を受けて品質が心配されている。 また、JA概算金が前年より高く設定されたが、民間流通米の値段はそれを上回っており、今後の動向に注視していきたい。
		袋セメント	袋セメントの8月度出荷数量は21千袋、前年同月比106.2%の実績となった。 熱中症を防ぐために作業を止める日として猛暑日を天候不良などによる作業不能日に加える「直轄土木工事における適正な工期設定指針の改定（R5.3月）」や熱中症予防対策を義務化する「労働安全衛生規則の改正（R7.6月）」等により、猛暑による「不稼働日」等を考慮した適正な工事運用が浸透し、稼働日数が減少したことから、過去最低の出荷袋数となった前年同月を若干上回ったものの今年度期初来最低の水準となった。
	小売業	鹿行地区共同店舗	売上高は98.23%（前年同月比）と微減であった。 来客数は94.59%（前年同月比）と減少であった。
		県南地区共同店舗	ショッピングセンター全体として8月の売上高（前年同月比）は102.24%と微増となった。
		燃料	燃料油価格の上昇を抑える国の支援策により、ガソリン価格は抑えられているものの、8月25日時点の茨城県のレギュラーガソリンの平均価格は172.1円と170円を超えており、依然として高値が続いている。 8月はお盆の行楽需要を期待していたが、前年同月比で売上を下回る事業者が大半となった。 7月30日、与野党の国会対策委員長が国会内で会談し、ガソリン税の「暫定税率（正式には「特例税率」）を年内に廃止することで合意した。これについては11月中にも廃止になるとの報道もあり、暫定税率分の価格が一気に下がった場合、廃止前の買い控えによる収入減少などの経営上の問題や廃止後の給油客の殺到等のガソリンスタンド店頭でのトラブルが懸念される。軽油に係る暫定税率分は地方税のため、茨城県の収入にも大きく影響があり、茨城県から補助金を受けている当組合運営にも支障が出る問題であり、国の動向には注視していく必要がある。
		農機具	円安・原材料高騰等を要因として農機や資材の価格高騰が止まらず、苦慮している。
		二輪自動車	猛暑により、二輪自動車の販売が低迷している。 涼しくなる秋に期待している。
		スポーツ用品	地元大手企業の拠点移転によるその従業員や従業員の家族（特に小中高生）の市内からの転出が売上に大きく影響しており、厳しい状況にある。その売上のマイナス分確保に向け、市外（（水戸、東海、ひたちなか）に営業をかけている。
		中古自動車	8月度は売上高は上がっているが、販売平均価格は下がる結果となった。 昨年に比べ景気は上向いてきてはいるが、主に大型店の好調が市場を引き上げている形であり、一般販売店はさほど変化がない状態となっている。
		野菜・果実	8月の野菜果実の取扱高（対前年度比）が92.0%と減少となった。過去5年間の平均と比較すると99.9%であり、概ね例年通りの実績となった。 猛暑の影響もあり、野菜果実ともに数量減単価高の傾向が強くみられた。お盆の影響によりスイカが市場内に余っている状況がよくみられるなか、果実全般の単価が高くなっており、仕入づらいという意見が多く見られた。
	商店街	水戸	対前年同月比で売上は増えているが、景況は良くない状況となっている。
		筑西	米価格の高騰により厳しい経営状況となっている。

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
非 製 造 業	サービス業	自動車整備	組合員の事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数（持込検査）は、盆休みの関係で、稼働日数が減少したが、ほぼ横ばいとなった（対前年同月比）
		旅館，ホテル	8月是对前年同月比で予約数は変わらなかった。昨年は8月の後半に台風が来て予約減になっていたことを考えると、厳しい状況である。関東では予約件数が落ちてきており、閑散期であることや万博の影響である可能性が高い。 収益は上昇しているが、10月の最低賃金の改定で、今後の利益率が減少する可能性を懸念している。 水戸市内のホテルでは例年通りラッキーフェス・スポーツ関連（野球・サッカー・バスケット・部活など）により需要があるが、筑波山地区ではインパウンド（宿泊利用）が変わらず低い状況となっている。食材や光熱費を料金に反映するも利用客数が微減となり売上高は不変となっている。銚田地区の施設では8月は前年まで合宿の予約を中心に受け入れをしていたが、今年から合宿受入の日程を制限し、お盆等は個人客の予約のみにシフトした結果、昨年より増益となった。
		ビル管理	夏休み期間の臨時的な受注もあり、売上高は増加しているが、労務費や資機材消耗品費等の上昇により圧迫されて利益の増加には及ばない状況が続いている
	建設業	総合	公共事業（県・市）の予算減少により発注予定件数、金額が減少しており、業績の見通しが非常に厳しい状況となっている。
	運輸業	軽貨物自動車	8月度の組合員数は増減なし（対前年同月比）の96名、車両台数は増減なし（対前年同月比）の124台となった。運送売上高については対前年同月比103.3%と3.3%の増加となった。 全国赤帽自動車運送協同組合連合会の8月の組合員数は21名減（対前年同月比）の5,816名、車両台数は31台減（対前年同月比）の6,956台となっている。
		一般貨物自動車	主要顧客の発送物量は、例年夏季休暇により減少するが、今年は例年以上に減少したため、売上高も例年以上に減少した。 運賃は値上げされたが、人件費、車両価格等経費が値上がりし、燃料価格については高値安定していることから、収益は厳しい状況が続いている。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	清酒	昨年からの急激な米価格の高騰により加工業者は苦境に陥っているため、行政には米価の歴史的 高騰により経営が圧迫されている酒造への原料米購入資金の補助金の検討をお願いしたい
	菓子	これだけ消費が落ち込んでいるなか、現在の政府対応では景気対策を取っているとはいえない
電気機器	重電	特定（産業別）最低賃金を不要としてほしい
小売業	燃料	・揮発油に課税している二重課税の廃止 ・燃料油補助に対する消費者に対する十分な説明、補助事業の今後の見通しの事業者向けの説明 ・物価上昇、円安への対策 ・暫定税率分の軽油に係る地方税への適切な対応
サービス業	旅館・ホテル	賃上げ補助の強化や経年劣化補修等に活用できる補助金が欲しい 9/20大阪万博で開催される宿フェスへの応援（動員）が欲しい
建設業	総合	公共事業予算の確保 労務単価 経費の値上げ

月次景況調査 8月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	8月	7月	前月比	8月	7月	前月比	8月	7月	前月比
景 況	▲ 32.7	▲ 28.6	▲ 4.1	▲ 36.0	▲ 32.0	▲ 4.0	▲ 29.2	▲ 25.0	▲ 4.2
売 上 高	▲ 4.1	▲ 10.2	6.1	▲ 24.0	▲ 24.0	0.0	16.7	4.2	12.5
収 益 状 況	▲ 22.4	▲ 22.4	0.0	▲ 28.0	▲ 28.0	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0
販 売 価 格	22.4	16.3	6.1	4.0	0.0	4.0	41.7	33.3	8.3
取 引 条 件	▲ 10.2	▲ 10.2	0.0	▲ 16.0	▲ 16.0	0.0	▲ 4.2	▲ 4.2	0.0

中小企業月次景況調査(令和7年8月)DI値(前年同月比)

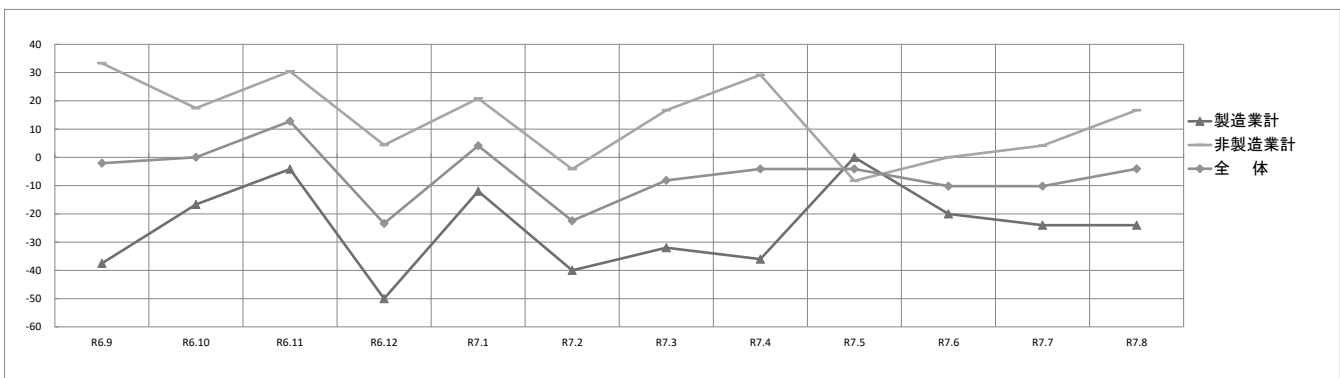
		売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況												
		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)														
				増加	不変			減少	業界数			増加	不変			減少	業界数			上昇	不変			悪化	業界数			好転	不変			悪化	業界数	好転	不変	悪化	業界数	好転	不変	悪化	業界数	増加	不変	減少	業界数	好転
製造業	食料品	△ 37.5	1	3	4	8	△ 12.5	1	5	2	8	50.0	4	4	0	8	△ 12.5	0	7	1	8	△ 37.5	1	3	4	8	△ 37.5	0	5	3	8	△ 25.0	0	6	2	8	0.0	1	6	1	8	△ 50.0	0	4	4	8
	繊維工業	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2
	木材・木製品	50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2
	紙・紙加工品	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	印刷	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	窯業・土石製品	△ 25.0	0	3	1	4	0.0	0	4	0	4	0.0	0	4	0	4	0.0	0	4	0	4	△ 25.0	0	3	1	4	0.0	0	4	0	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	3	1	4	△ 25.0	0	3	1	4
	鉄鋼・金属	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	一般機器	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1
	電気機器	0.0	1	0	1	2	0.0	1	0	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	1	0	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	1	0	1	2
	輸送機器	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3
	製造業計	△ 24.0	4	11	10	25	△ 16.0	2	17	6	25	4.0	4	18	3	25	△ 16.0	0	21	4	25	△ 28.0	3	12	10	25	△ 28.0	0	18	7	25	△ 28.0	0	18	7	25	△ 20.0	1	18	6	25	△ 36.0	1	14	10	25
非製造業	卸 売 業	66.7	2	1	0	3	33.3	1	2	0	3	66.7	2	1	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3					0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	
	小 売 業 (商店街含む)	9.1	5	2	4	11	△ 18.2	0	9	2	11	45.5	5	6	0	11	△ 9.1	0	10	1	11	△ 9.1	0	10	1	11	△ 9.1	0	10	1	11					△ 9.1	0	10	1	11	△ 18.2	0	9	2	11	
	サービス業	66.7	2	1	0	3					66.7	2	1	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3					0	2	1	3	0.0	0	3	0	3		
	建 設 業	0.0	0	5	0	5					0.0	0	5	0	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0					0	4	1	5	△ 20.0	0	4	1	5		
	運 輸 業	△ 50.0	0	1	1	2					50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0					0	1	1	2	0.0	0	2	0	2		
	非製造業計	16.7	9	10	5	24					△ 7.1	1	11	2	14	41.7	10	14	0	24	△ 4.2	0	23	1	24	△ 16.7	0	20	4	24	△ 8.3					0	22	2	24	△ 16.7	0	20	4	24	△ 29.2	0
全 体		△ 4.1	13	21	15	49	△ 12.8	3	28	8	39	22.4	14	32	3	49	△ 10.2	0	44	5	49	△ 22.4	3	32	14	49	△ 18.4	0	40	9	49	△ 28.0	0	18	7	25	△ 18.4	1	38	10	49	△ 32.7	1	29	17	49

D I 値推移表 (R6. 9月 ~ R7. 8月期)

《売上高の推移》

前年同月比	R6. 9	R6. 10	R6. 11	R6. 12	R7. 1	R7. 2	R7. 3	R7. 4	R7. 5	R7. 6	R7. 7	R7. 8
食料品製造業	▲ 42.9	▲ 28.6	14.3	▲ 42.9	0.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 12.5	▲ 12.5	▲ 25.0	▲ 37.5
製造業(食料品製造業以外)	▲ 35.3	▲ 11.8	▲ 11.8	▲ 52.9	▲ 17.6	▲ 47.1	▲ 35.3	▲ 35.2	5.8	▲ 23.5	▲ 23.5	▲ 17.6
製造業計	▲ 37.5	▲ 16.7	▲ 4.2	▲ 50.0	▲ 12.0	▲ 40.0	▲ 32.0	▲ 36.0	0.0	▲ 20.0	▲ 24.0	▲ 24.0
卸売業	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	▲ 33.3	0.0	▲ 33.3	0.0	0.0	▲ 33.3	66.7
小売業(商店街含む)	50.0	27.3	54.5	9.1	45.5	9.1	9.1	54.5	▲ 27.3	▲ 9.1	9.1	9.1
サービス業	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	33.3	33.3	66.7	100.0	66.7	66.7	33.3	66.7
建設業	40.0	0.0	0.0	0.0	▲ 40.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	▲ 50.0	50.0	50.0	▲ 50.0	50.0	0.0	0.0	▲ 50.0	50.0	▲ 50.0
非製造業計	33.3	17.4	30.4	4.3	20.8	▲ 4.2	16.7	29.2	▲ 8.3	0.0	4.2	16.7
全体	▲ 2.1	0.0	12.8	▲ 23.4	4.1	▲ 22.4	▲ 8.2	▲ 4.1	▲ 4.1	▲ 10.2	▲ 10.2	▲ 4.1

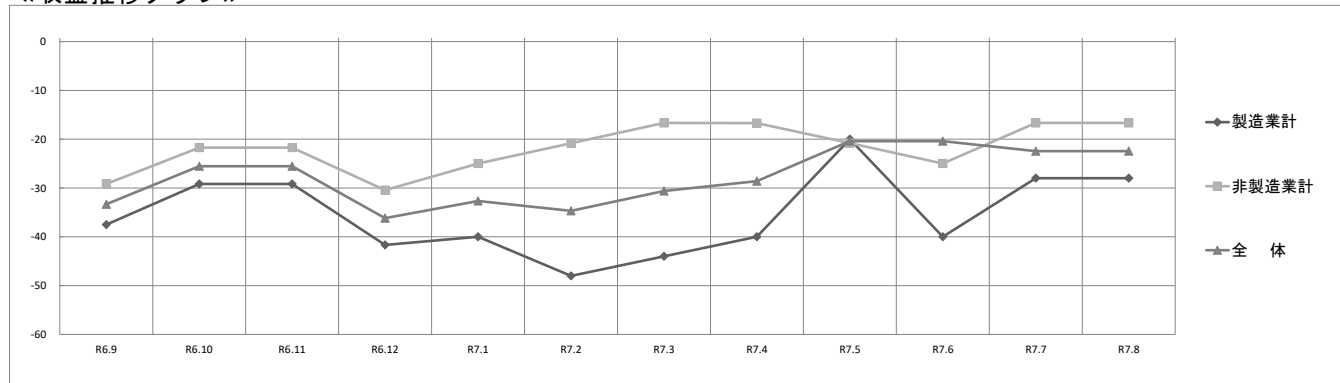
《売上高推移グラフ》



《収益の推移》

前年同月比	R6. 9	R6. 10	R6. 11	R6. 12	R7. 1	R7. 2	R7. 3	R7. 4	R7. 5	R7. 6	R7. 7	R7. 8
食料品製造業	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 14.3	▲ 42.9	▲ 37.5	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 62.5	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 25.0	▲ 37.5
製造業(食料品製造業以外)	▲ 41.2	▲ 29.4	▲ 35.3	▲ 41.2	▲ 41.2	▲ 47.1	▲ 47.1	▲ 29.4	▲ 11.7	▲ 41.1	▲ 29.4	▲ 23.5
製造業計	▲ 37.5	▲ 29.2	▲ 29.2	▲ 41.7	▲ 40.0	▲ 48.0	▲ 44.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 28.0	▲ 28.0
卸売業	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3
小売業(商店街含む)	▲ 33.3	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 9.1	9.1	▲ 9.1
サービス業	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 33.3	0.0	0.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	0.0
建設業	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 29.2	▲ 21.7	▲ 21.7	▲ 30.4	▲ 25.0	▲ 20.8	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 16.7
全体	▲ 33.3	▲ 25.5	▲ 25.5	▲ 36.2	▲ 32.7	▲ 34.7	▲ 30.6	▲ 28.6	▲ 20.4	▲ 20.4	▲ 22.4	▲ 22.4

《収益推移グラフ》

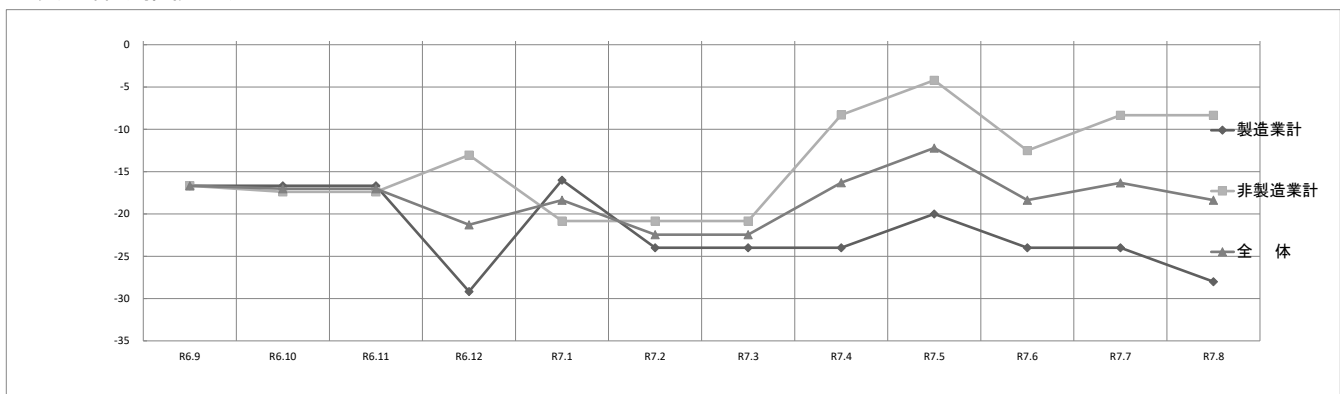


D I 値推移表 (R6.9月 ~ R7.8月期)

《資金繰りの推移》

前年同月比	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3	R7.4	R7.5	R7.6	R7.7	R7.8
食料品製造業	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 12.5	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 25.0	▲ 37.5
製造業(食料品製造業以外)	▲ 11.8	▲ 5.9	▲ 11.8	▲ 23.5	▲ 17.6	▲ 17.6	▲ 17.6	▲ 11.7	▲ 11.7	▲ 17.6	▲ 23.5	▲ 23.5
製造業計	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 29.2	▲ 16.0	▲ 24.0	▲ 24.0	▲ 24.0	▲ 20.0	▲ 24.0	▲ 24.0	▲ 28.0
卸売業	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3
小売業(商店街含む)	▲ 16.7	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 9.1	0.0	▲ 9.1	0.0	▲ 9.1
サービス業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 33.3	0.0	0.0
建設業	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 16.7	▲ 17.4	▲ 17.4	▲ 13.0	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 8.3	▲ 4.2	▲ 12.5	▲ 8.3	▲ 8.3
全体	▲ 16.7	▲ 17.0	▲ 17.0	▲ 21.3	▲ 18.4	▲ 22.4	▲ 22.4	▲ 16.3	▲ 12.2	▲ 18.4	▲ 16.3	▲ 18.4

《資金繰り推移グラフ》



《景況の推移》

前年同月比	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3	R7.4	R7.5	R7.6	R7.7	R7.8
食料品製造業	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 37.5	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 50.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 29.4	▲ 17.6	▲ 23.5	▲ 35.3	▲ 29.4	▲ 35.3	▲ 35.3	▲ 29.4	▲ 5.8	▲ 35.2	▲ 35.2	▲ 29.4
製造業計	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 32.0	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 36.0	▲ 16.0	▲ 32.0	▲ 32.0	▲ 36.0
卸売業	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7
小売業(商店街含む)	▲ 25.0	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 9.1	0.0	▲ 18.2
サービス業	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0	33.3	0.0	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0
建設業	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 25.0	▲ 21.7	▲ 30.4	▲ 30.4	▲ 25.0	▲ 29.2	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 20.4	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 29.2
全体	▲ 27.1	▲ 21.3	▲ 27.7	▲ 31.9	▲ 28.6	▲ 34.7	▲ 34.7	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 32.7

《景況推移グラフ》

